

令和4年度 交通安全標語入賞作品

登別市老人クラブ連合会が、高齢者の交通安全への関心を高め、自己啓発を図るため、応募があった交通安全標語の中から優秀作品を表彰しています。

問い合わせ 市民サービスグループ (☎052139)

登別市長賞

飲酒運転 事故は一時 悔やむは一生

(鷲楽会・城地正隆さん)

T字路の 左右確認 もう一度

(永楽会・森谷子さん)

出発よ 命のベルト しめたかな

(新寿会・寺本和香さん)

其の違反 積み重なって 事故になる

(若緑会・宿村正行さん)

登別市交通安全協会会長賞

あぶないよ あの道この道 交差点

(新寿会・若生千津子さん)

スマホより 右見て左見て 安全確認

(新生虹の会・渡辺幸子さん)

反射板 付けて知らせる 事故防止

(若緑会・中島啓祐さん)

登別市老人クラブ連合会会長賞

疲れたよ ちょっとと休息 余裕の運転

(新寿会・青木美智子さん)

自転車も 交通ルールを 守りましょう

(新生虹の会・大上喜美子さん)

お土産は 無事故で帰る その笑顔

(鷲楽会・山本文江さん)

とうほんせいそう 東奔西走

起こさせない強い思い
幌別地区繁華街歳末飲酒運転根絶防犯パトロール

12月2日、事件や事故の発生防止を目的に、市や室蘭警察署、登別市交通安全指導員会、登別市暴力追放運動推進団体連絡協議会などの関係団体が協力し、幌別地区繁華街歳末飲酒運転根絶防犯パトロールを実施しました。

当日は、冬道による交通事故や路上強盗、ひったくりなどの事件の発生防止のため幌別地区繁華街を2組に分かれてパトロールしたほか、営業中の飲食店を訪れ、店員や客に飲酒運転の根絶を呼び掛け、チラシやコースターなどの啓発物品を配布しました。



▲啓発物品を配布する参加者



▲謡体験をする子どもたち

幽玄の世界を体験
鎌倉能舞台能楽公演

11月30日、市総合体育館で鎌倉能舞台による能楽の巡回公演が行われ、市内小学生268人が鑑賞しました。

公演は、文化庁の文化芸術による子供育成推進事業の一環として行われたもので、狂言『柿山伏』、舞ばやし『船弁慶』、能『敦盛』が演じられ、子どもたちは、『敦盛』の中で事前に練習した謡を、その後のワークシヨップでは狂言の所作の基本となる体勢や発声を体験しました。

講演を鑑賞した子どもたちからは、「初めて鑑賞したけれども面白かった」といった声が聞かれました。

11/30